

生涯学習グループ

「学社連携・融合」の取組 ～社会教育主事等の学校訪問から～

平成14年度より、学校と地域の連携の充実や学校を拠点とした地域の教育力の活性化を図るため、社会教育主事が管内の学校等を訪問し、学社連携・融合の具体的方策などに関する情報提供や相談等を行っています。

今年度は、『学校支援センター』の運営・推進や、学校支援ボランティアの活動・取組等の充実を図るために、担当指導主事と社会教育主事が管内小中学校15校を訪問しました。訪問した多くの学校で、『学校支援センター』を機能させた学社連携・融合による取組を行っていました。

その概要を4つにまとめてみますと・・・

1 多様な支援活動が行われていました。

○地域人材の専門性を活かした学習支援 ○校外学習の引率などの学習補助 ○読み聞かせや学校図書館にかかわる支援 ○登下校の安全確保にかかわる支援 ○学校の環境整備にかかわる支援 ○職場体験への協力 ○放課後の子供の居場所づくりへの支援など



2 コーディネーターを配置している学校が見られました。

コーディネーターは、円滑に活動を進めるためのサポート役を担っていました。

○学校が必要とする外部講師や支援ボランティアを発掘及び紹介する ○相互の連絡や調整を行うなど

3 地域の教育力を活かした効果がありました。

○地域人材の専門性を生かすことにより、授業の質が高まる ○個に応じた支援が可能になる ○教育環境の整備が進む ○子供の安全を確保することができる ○学校への理解が深まり、信頼感や透明性を得ることができるなど

4 地域の方の学習成果や学校への理解が高まりました。

○自らの学びを得る ○自己実現を図る ○学校を理解するなど



各学校における、今後の運営・推進上の課題として・・・

- ◇ 『学校支援センター』の体制づくりや運営の工夫
- ◇ 支援を求める内容の洗い出しと整理
- ◇ 学社連携推進担当の職務の見直しなどが挙げられます。

今後も『学校支援センター』が充実することにより、学校と地域の双方にとって有益な学社連携・融合の取組となっていくよう、情報提供等をしていきたいと考えています。